

プロジェクトリーダー:愛知工業大学 基礎教育センター 長谷川省一教授

事業実績調書

1 プロジェクト内容

(1) プロジェクト名	瀬戸市の教育への支援に繋げる協働実践
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	<p>本プロジェクトの目標にした、①大学生の経済的負担と、②実施期間の2つの課題解消についてであるが、①については、大学コンソーシアムせと事務局から交通費とボランティア保険加入料を補助して頂くことで、一部の学生にとっては解消できた。ただ、補助される交通費が自宅からではないために、定期を持たない夏休み期間中、岡崎市等の遠方から参加する学生にとっては、依然として課題が残った。②については、平成24~28年度で実践してきた瀬戸市立中学校への学習支援員の派遣の協働プログラムであり、毎年、中学校から感謝の言葉を頂いており、本学の地域貢献になっていると同時に、本学教職課程の学生にとっての貴重なキャリア教育の場になっている。また、本年度は瀬戸市立光陵中学校の夏休み学習会に、毎回、本学教員が付き添って学習支援に当たる学生への指導・助言に当たったので、中学生にも大学生にも、互いにwin-winの関係をこれまで以上に深め、本プロジェクトの確実な定着に繋げることができた。ただ、中学校から期待されている「個別の丁寧な対応」に関して、夏休みの学習会だけでなく普段から質問に対応することについては模索途上にある。</p>
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>5月 瀬戸市立光陵中学校と「夏休み学習会への学習支援員派遣」と、新しく「日頃の支援の在り方」について協議し、中学生に向けた広報パンフレットを作成。 また、本学教職課程の講座で、中学生からの質問に対するチューターの希望者を募った。</p> <p>6月 1日 光陵中学校1年生女子からの質問票を受信</p> <p>7月26日 「瀬戸市立光陵中学校への学習支援員の派遣」についての説明会を実施 (9名参加)</p> <p>31日 3年生の学習会に出向いて、日頃からの学習支援について広報活動を行った</p> <p>8月 1日 2年生の学習会に出向いて、日頃からの学習支援について広報活動を行った 学生1名が学習支援に参加、巡回指導実施</p> <p>18日 1年生の学習会に出向いて、日頃からの学習支援について広報活動を行った 学生4名が学習支援に参加、巡回指導実施</p> <p>21日 学生3名が学習支援に参加、巡回指導実施</p> <p>22日 学生3名が学習支援に参加、巡回指導実施</p> <p>23日 学生3名が学習支援に参加、巡回指導実施</p> <p>25日 学生1名が学習支援に参加、巡回指導実施</p> <p>11月16日 日頃からの学習支援について、学生に、中学生に向けたポスターの作成を依頼</p> <p>30日 学生が作成したポスターを中学校の各教室に掲示して頂くよう依頼</p>

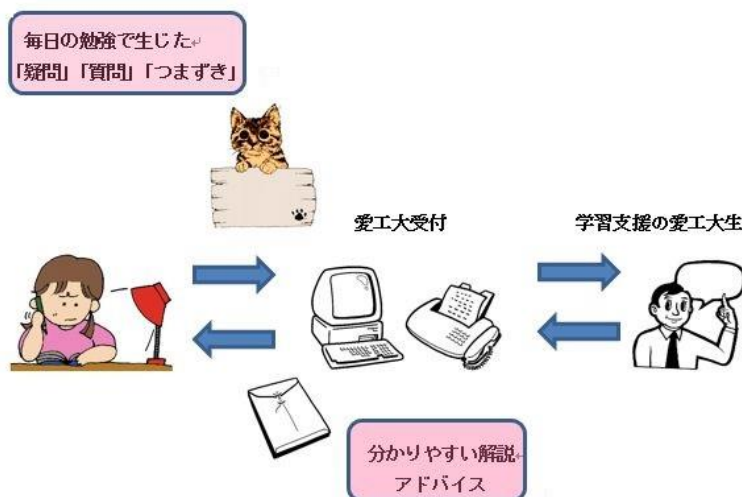
(4) プロジェクトの今後の課題と展望

本年度から新しく「日頃からの支援」について模索すべく、広報パンフレット＜愛工大生による「学習支援」について＞と＜質問票＞を作成して、光陵中学校と協議しながら進めたが、上記（3）にも記載したように、1名からの質問を受け付けるに留まっている。加えて、質問の内容も、高校進学に向けての勉強方法に関するものであったため、学生チューターではなく本学の教員が回答した。教職課程の学生から、光陵中学生の日頃の勉強を支援する「学生チューター」として4名が登録して常に待機してくれている状態である。

質問する中学生が、直接、回答する学生チューターに連絡を取るシステムには取えてしていない。何故なら、中学生からの勉強面での質問に対する回答以外に、個人的な関係に発展していくことのないよう、下図に示すように愛工大受付窓口を一本化し、返信についてもこの窓口を必ず通すようにしているからである。反面、このことがハードルの一つになって、日頃の勉強で生じた質問に関して、質問票を利用しようとする意識が薄れていると想像できるが、これはやむを得ないと考えている。

【送信先：愛工大受付】 e-mail : s-hasegawa@aitech.ac.jp

FAX : 0565-48-6267



「日頃からの学習支援」について、中学生からの質問票が来ないことから学生チューターと相談した結果、気軽に質問できるよう啓発ポスターを教室に掲示して頂こうということになり、次のようなポスターを作成して上記（3）に記載したように中学校の各教室に掲示して頂いた。



その後、プロジェクト終了日までに中学生からの質問票は受信していないので、さらなる模索を続けていかねばならないと考えている。

(注) プロジェクトに関する参考資料がある場合は、A4サイズで添付してください。